

# 憩いのパークの魅力

## ネーブルパーク研修センター 「平成館」の1年



4月、春風に桜の花びらが舞い、若草も日増しに伸びるこの頃。平成館では、新しいスーツや制服に身を包んだフレッシュな人たちが出入りする季節です。

開館から25年の間で感じることは、季節によって利用目的に特色があり、利用者の顔ぶれが変わっていくことです。

春。最も多いのは企業による新人研修です。約1カ月間、初々しい新入社員が、真剣な眼差しで研修を受けています。

5月のゴールデンウィーク。ネーブルパークは、人と自然とのふれあいをテーマに開園しました。ログハウス風の宿泊施設「キャビン」だけでなく、自然を感じに平成館にも多くの人たちが宿泊します。

夏。幼稚園児・保育園児が、昼間は芝生やアスレチックで駆け回り、夜はキャンプファイアで、印象的な思い出を作っていきます。

そして、秋は何といっても

「菊まつり」。宿泊だけでなくレストランで行っている、「秋の味覚メニュー」を多くの方が楽しんでいきます。

菊まつりが終わると季節は冬になり、平成館では、「クリスマス宿泊パック」、「つどい」などを企画しています。多くの利用者が、仲間や家族と食事を楽しみ、暖かい部屋でのんびりと疲れをとっているようです。

1年を通して平成館には多くの方が訪れます。私たちも「また利用したい」の言葉を励みにこれからも頑張ります。  
【問】ネーブルパーク研修センター「平成館」

☎91-2080



▲これから始まる新生活が楽しみです



表紙写真



3月10日に行われた三和中学校の卒業式。式典の時に「<sup>あお</sup>げば<sup>どうと</sup>尊し」を歌いながら涙する生徒がたくさんいました。それだけ楽しく、思い出深い学校生活だったのでしょう。

卒業式が終わった後の最後のホームルーム。話が尽きない3年1組にお邪魔して担任の小嶋先生を中心に「ハイチーズ!」。中学生活の締めくくりはやっぱり笑顔がいいですね。

10年後、もしくは20年後になるかもしれませんが、同窓会で集まったときは、広報紙の表紙に載ったことを思い出しながら、みんなで話してくださいね。

4月からみんな別々の新生活が始まりますが、これからもずっと仲の良い友達でいてください。

### 古河市データ

#### 人口

(3月1日現在) 住民基本台帳から  
総人口 144,258人 (+28)  
男 72,610人 (+32)  
女 71,648人 (-4)  
世帯数 59,634世帯 (+76)  
( ) 内は前月比